

宇津木台 森遊会 実施報告

「第4回定例活動」

No.2017-04

実施日	2017年7月23日(日) 9:30~12:30	天候：小雨	記録：金森
場所	宇津木台緑地（八王子市久保山町2-1）		
参加者	参加者：7名（男性3、女性4）川田、矢島、中村（弘）、大神田、小林、田口、田中 インストラクター：金森		

実施内容

活動7年目の第四回目。雨天の予報ではないが今にも降りそうな雲と蒸し暑い空気、熱中症に要注意、蚊取り線香は必須だ。緑地に近い八王子市立石川中学校で活動するボランティア部の教員と1、2年生のみなさんが参加された。

鋸と剪定バサミを準備、チャドクガなどの毛虫に注意するよう伝えて生垣へ向かう。

生垣は公園管理にて剪定されており、形は整っているが、また巨大化してきたので思い切って剪定することにした。緑地では子供の背丈を考慮して膝の高さほどの70センチがいいという。また、バッサリ伐ったが2、3年で再生することは実証済みである。伐った枝葉は万能袋に集めて集積エリアに運んだ。

雨が降り出してきたが森の中ではその強さはわからない、一時的に本降りだったようだ。

剪定の後は昨年度、石川中学校が体験学習授業で笹狩りを行った小川沿いのエリアを散策する。笹は繁茂しているが以前ほどではなく、細いものが膝の高さ程度に伸びており、簡単に刈れる状態を保っている。以前は人が近づける状態ではなかった。

小川終点の土嚢によるダムは撤去されて元に戻っていた。緑地上部の工事によって大量の水が流れた問題は終息したようだ。ハグロトンボが繁殖しているので環境への影響は少なかったのではないかな。

次回、8月は雨天中止や猛暑が続いており、開催中止の可能性もあることを伝えて解散した。



生垣は形は整っているがまた巨大化してきたので思い切って剪定することにした 緑地では子供の背丈を考慮して70センチがいいという



中がスカスカなのは何十年も放置した名残 何度か剪定を繰り返すことで密度が上がることを期待する

記念撮影を撮影



剪定の後は昨年度、石川中学校が笹狩りを行った小川沿いのエリアを散策する 小川終点の土嚢は撤去されて元に戻っていた

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋小1個はいっぱいにならなかったのが次回に取り置き。